

## 事務局報告

報告:沼田 栗実

部門概要: 事務局運営

(事務局スタッフ:代表…本庄/事務局長…沼田/事務局次長…秋山/会計…堂前・本庄)

- 目的: 月1回の運営会議、各事業の進捗管理、人材育成、事務所運営、管理など、会のスムーズな運営のために活動する。

<事務局の仕事>

- 1) 即決断が求められたときの決定機関
- 2) 運営会議の準備
- 3) 総会準備
- 4) 会計、資金繰り
- 5) 助成金の申請とその手配
- 6) メール・リングリストの管理
- 7) メールのチェック
- 8) NPO法人関連手続き
- 9) 全般的なコーディネート
- 10) 対外的な交渉など(マンション関連他)
- 11) 記録・写真・スクラップの整理・管理

- 経過:

- ① 月1回の運営会議は継続的に実施
- ② 会報は2回発行した
- ③ 事務局会議は適宜開催

- 結果・効果:

- ① 運営会議、事務局会議の実施
- ② 会報の発行 2021年7月と12月の2回発行ができた
- ③ 助成金獲得 さぼーとほっと基金 115,000円 エイズ予防財団 480,000円
- ④ 企業寄附獲得 ギリアド・サイエンシズ株式会社 寄附プログラム 300,000円

- 課題:

2021年度も、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の影響を受けながら、全体的活動を縮小せざるを得ない状況であった。その中でも、活動に積極的に参加してくれたスタッフに、この場を借りて、お礼申し上げます。

### ①事業面

2021年度も引き続き、少ない人数で各部事業を実施していたこともあり、事務局活動は省力にならざるを得なかったが、その中でも、前年度に引き続き、札幌市主催「ゲイ・バイ男性のためのエイズ検査」の企画提案・広報・相談員派遣だけでなく、厚生労働省研究班(MSM ALL JAPAN)の「ゆうそう検査」検査キット配布事業に協力することができた。コロナ禍で保健所でのHIV検査が縮小になっている中で、検査機会の提供の一助となったと考えている。

2021年度は、札幌市さぼーとほっと基金から助成を受けている団体としてインタビューを受けることがあり、コロナ禍での活動についてだけでなく、HIV/エイズの現状などインタビューを通して情報発信することができた。

### ②資金面

資金面では、2団体から助成を受けることができ、無事に電話相談事業を行うことができただけでなく、「想いをつなぐ 相談&サポート団体リスト～HIVを取り巻くさまざまな背景を多角的にサポートするために～」を作成することができた。今後、道内の保健所・拠点病院・エイズ NGO 等に配布する他、イベント等でも配布していきたい。

また、ご縁があり、抗 HIV 薬などを作っている製薬会社であるギリアド・サイエンシズ株式会社様より「賛助会員の寄附をしたいので、寄附申請プログラムに応募していただきたい」というお話を頂き、寄附を受けることが出来た。

### ③運営面

2021 年度は、支出の見直しを行い、助成金では賅うことが難しい管理費の部分(インターネットの通信費、事務所家賃、電気代など)を見直し、10 月から新しい事務所に引っ越しもできた。

2021 年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントなども制限がされることを予測し、短期目標の中に「勉強会を積極的に実施し、参加を促す」としていたが、変わらずのマンパワー不足により、内部の勉強会を企画・実施することは出来なかったが、スタッフそれぞれが、外部のオンライン研修等に積極的に参加し、研鑽につとめることもできた。市内はもとより、道内、全国の関係機関との連携も芽が出つつあると考えています。

新年度も、引き続き

(1)講演活動、電話相談のさらなる質の向上に注力する。

(2)陽性者交流会事業の継続開催を通じて、ネットワークを広げていく。

(3)次の20年を担う新規スタッフを計画的に育成するために、スタッフ募集と研修をおこなっていく。

(4)会の趣旨や考え方などをしっかり継承していける体制を作る。

(5)賛助会員や寄付者に向けた継続的なフォローや広報を引き続きおこなうのと同時に、助成金の安定的な獲得など資金面の基盤作りをする。

以上について、必要があると考え、まずは、短期目標達成を目指し、全スタッフで取り組んでいきたい。

最後に、新年度も引き続き、より多くのスタッフが、自分にあった関わり方で、活動に参加してほしいと考えている。「イベントに参加する」「事業の担当になる」という形だけではなく、イベントまでの準備や、ブログの更新、動画配信の構想・編集、資料の発送作業等々、細かい活動も多いので、できることをできる範囲で、関わってもらえるよう、事務局もメール・リスト等を用いて、呼びかけていきたい。正会員に限らず、ヘルプスタッフからも新しい提案(些細なことでも構いません)をたくさんしてほしいと考えているので、やりたいことがあれば相談できる事務局体制を築いていきます。よろしくお願いたします。